

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科：家庭 科目：家庭基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

使用教科書：（実教出版 図説 家庭基礎）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。

生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を【思考力、判断力、表現力等】構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだ、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 食生活をつくる 【知識及び技能】家庭生活での食事の意義や役割を理解し、その充実・向上のために必要な基礎的・基本的知識を身につけること。 【思考力、判断力、表現力等】私たちの体をつくる「栄養素」と活動に必要な「エネルギー」との違いを考察し、食品の摂取にあたってはどれも重要であることを認識すること。 【学びに向かう力、人間性等】自分で献立作成・調理ができること、それを家族や知人のために役立てることに関心を持ち、意欲的に取り組むこと。	・指導事項 ・食生活をつくる ・衣生活をつくる ・教材 ・教科書 ・資料集 ・プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	11
	B 単元 衣生活をつくる 【知識及び技能】衣生活の充実・向上のための基礎的・基本的な知識を身につけ、被服のTPOをわきまえている。 ・被服の多様化に対して、自分らしい衣生活を維持・向上していくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】被服の選択に関する基礎的・基本的な知識をもとに、衣生活の向上・充実に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】日本の衣生活が、近年、どのような変遷をたどって現代に至っているか、特に洋風化・既製服化を理解するために意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 ・食生活をつくる ・衣生活をつくる ・教材 ・教科書 ・資料集 ・プリント ・被服実習教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】被服材料について理解している。 【思考・判断・表現】持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査				○	○	

